



どっこいしょ



Dokkoisyo

2016.12.14 (水) 第19号

知ることから広げてみよう

…… 様々な分野の人が教えてくれる……



12月の学校を振り返ってみると、2日(金)に2年生対象の「おもしろドキドキ科学教室」(講師:神戸常盤大学 栗岡誠司教授)に始まり、5日(月)12日(月)には3年生、1年生対象の「赤ちゃん教室」(講師:NPO法人ママの働き方応援隊)、6日(火)には「PTA5部合同講演会」(講師:ジャズトランペッター大野俊三さん)、9日(金)には3年生の「性教育講演会」(講師:野村啓子先生)、1年生は「わくわくオーケストラ」(県教委主催)を鑑賞しました。

大学の先生から日本一ちっちゃな先生の赤ちゃんまで、様々な分野の人からたくさんのお話をいただきました。初めて知ったことや見たこと聞いたことに驚きがあり、心を揺さぶられた人も多かったことが各学年の学年便りに書かれています。

ご家庭でもその時の様子やお子様の思いなどを話題にさせていただいているでしょうか?様々な機会をとらえ、中学生としての興味関心をどんどん広げ、将来の一人一人の姿を思い描きながら声かけと励ましの言葉をお願いします。

こんな言葉や姿がありました。

★「おもしろドキドキ科学教室」

「学校でやることは暗記や計算など基礎練習のようなものが多いのですが、その延長に広い世界があります。今日の実験もそのひとつです。」……ノーベル医学・生理学賞を受賞した大隅栄誉教授の「私のような基礎的な(分野の)研究者も運が良ければ、こういう機会に恵まれると知ってほしい」というコメントにもつながりますね。

★「大野俊三さん講演会 ～くじけない心～」

「俊ちゃんがんばれ、俊ちゃんがんばれ!」と自分で自分を励ます言葉。「3日坊主も10回やったら1か月、100回やったらほぼ1年やったことになる」……なかなかいい言葉であり、考え方ですね。とにかく「続けること」は本当に大切です。



★「赤ちゃん先生」

「笑う、大泣き、暴れる、歩き回る」……小さな命が精一杯生きていることを“先生”は伝えてくれました。お母さん方、本当にありがとうございました。このところニュースでよく目にする親から子への虐待事件について考えさせられます。10年、20年後の将来の母親・父親の世代はどうなっているのだろう。

★「性教育講演会 人間の生と性を考える ～輝く未来のために～」

「無知ではだめよ!」……命の重さ、生まれてくることの素晴らしさと重大さを熱のこもった言葉で伝えていただきました。

知

チ、しる
口(くち)と音を表す矢(シ→チ:続ける意)とからなり、べらべらとしゃべり続ける意味を表す。借りて、しるの意味に用いる。

これは何の巣?



▼窓ガラスを拭いていてこんな巣を見つけました。エントツドロバチの巣かなと思いましたが、ハチに詳しい先生に聞いてみると「“アメリカシガバチ”の巣ですね。」

▼名前のとおりアメリカからの外来種。このハチの勢いで在来種のキゴシシガバチが明石から姿を消したそうです。

★成虫写真は「明石の昆虫」P-41に掲載。

部活動等の結果

【柔道部】
県新人大会
男子団体 ベスト16

【男子ソフトテニス部】
明石市のじくカップ
越智・石橋 組 2位
南谷・井本 組 5位

【野球部】
1年生大会 5位